

申出法人の公益要件に関する適合について

◎指定基準3：地域等の課題の解決に資する特定非営利活動を行う特定非営利活動法人であって、当該特定非営利活動法人以外のものから支持されている実績があるものであること

要件	確認した書類等 (法人によって異なる)	特定非営利活動法人こまちぷらす
		法人による説明内容(要約)
ア 地域等の課題の解決に資する特定非営利活動を行う特定非営利活動法人である		
※ 次の(ア)から(オ)の項目を総合的に判断		
(ア) 法人の行う特定非営利活動に係る事業が横浜市の施策に合致しているものであること	<ul style="list-style-type: none"> ■過去の事業報告書等 ■「とつか子育て応援隊」会議資料 ■「子育て連絡会」会議資料 ■助成金交付決定通知書 	<p>戸塚区運営方針「誰もが安心して暮らせるまちづくり」には「子育て支援の充実」の実現が掲げられている。当法人は戸塚区の依頼により子育て支援拠点、民生委員・児童委員、保育園、幼稚園等で構成される「とつか子育て応援隊」に参画し、施策の合意形成に関わりながら、子育て支援の充実に向けた活動を行っている。</p> <p>尚、子育てネットワークのさらなる充実のために開催される子育て支援関係者(各地域ケアプラザや区社会福祉協議会等)で構成される「子育て連絡会」へ戸塚区から依頼を受けて出席し、参加者と情報共有することで、区の子育て支援の充実に貢献している。</p> <p>また、実績判定期間内ではないが、平成26年度には横浜市都市整備局のヨコハマ市民まち普請事業として採択され、約500万円の助成を受けて戸塚駅西口にこまちカフェを整備し、その後は自主財源にて「親子が集えるひろばカフェ」として継続的な運営ができています。</p>
(イ) 事業や資金計画などに計画性があり、活動の継続性が見込まれること	<ul style="list-style-type: none"> ■過去の事業報告書等 ■法人提出の事業計画、収支予算、人員体制 ■総会・理事会の議事録 ■帳簿類 	<p>平成29年度はスタッフの入れ替わりと新規事業への人材育成の支出が増える等のばらつきはあるものの、事業規模や正味財産額は増加し続けている。</p> <p>また、収入のうちの約7割を占める事業費のうち、約5割がカフェの場から生まれており、残りの4割はウェルカムベビープロジェクトやつながりデザインプロジェクト、調査やコンサルティング等の「つながり事業」によって得ている。また、日本財団や区社協からの助成金を事業別に獲得することで、計画性をもって有効に活用している。</p>
(ウ) 受益の機会が一般に開かれていること	<ul style="list-style-type: none"> ■パンフレット、広報誌 ■ホームページ 	<p>事業内容や制度の利用方法等を、ホームページやパンフレット等を通じて広く情報発信することで、受益の機会が一般に開かれている。</p>
(エ) 自主的・自発的に独立して行われていること	<ul style="list-style-type: none"> ■過去の事業報告書等 ■パンフレット、広報誌 ■ホームページ ■帳簿類 	<p>法人の立ち上げ当初より自主財源による運営を心掛けており、前述のように事業費が収入の約7割を占めている。寄付の機会を広く設けることで、受益者のみならず、社会全体にも金銭的な負担を分担してもらう仕組みを徐々に整えつつあり、今後も自主財源にて自主的・自発的な活動を行う。</p>
(オ) その他、市民の利益に資すること	<ul style="list-style-type: none"> ■過去の事業報告書等 ■パンフレット、広報誌 ■ホームページ 	<p>他団体からのカフェ見学や視察受け入れ、学生のヒアリング等を積極的に受け入れている。また、「よこはま夢ファンド」による助成により開催しているSDGsのワークショップを通じて、内容の告知及び広報に努め、一般市民の参加の土壌づくりを図っている。</p>
イ 当該法人以外のものから支持されている実績がある		
(ア) 行政から支持を受けている実績	<ul style="list-style-type: none"> ■会議資料 	<p>「とつか子育て応援隊」出席 内容：戸塚区役所子育て支援課が事務局を務める子育て支援拠点、民生委員・児童委員、保育園、幼稚園等で構成される「とつか子育て応援隊」に参画し、施策の合意形成に関わりながら、子育て支援の充実に向けた活動を行っている。</p>
(イ) 地域住民、企業等から支持を受けている実績	<ul style="list-style-type: none"> ■助成金交付決定通知書 ■帳簿書類 	<p>市民局 よこはま夢ファンド登録団体助成金 内容：「子育ての孤立感を埋めるSDGsワークショップ事業」の実施。 孤立した子育てを社会からなくすために、こまちカフェをはじめとする居場所事業・情報発信事業・コーディネート事業を実施してきたが、「自分の日々の生活が社会の一部であることを自己認識する機会・関係性の創出」ということが重要であるとの認識から、生活に密着した役立ち感、選択する誇り、をどのように居場所で作り出すことができるのか、SDGsと自分のアクションを掛けあわせて考えるワークショップの実施を通して実証していく。</p>
(イ) 地域住民、企業等から支持を受けている実績	<ul style="list-style-type: none"> ■助成金交付決定通知書 ■帳簿書類 	<p>日本財団による助成 内容：「まちの担い手」をカフェ的な場から育てるノウハウ体系化の研究実践プロジェクトを行いコーディネーターの育成及びおしゃべり会の企画を通じた居場所づくり&参画のデザインを実施。</p>
(イ) 地域住民、企業等から支持を受けている実績	<ul style="list-style-type: none"> ■助成金交付決定通知書 ■帳簿書類 	<p>戸塚区社会協議会による助成 内容：不登校ひきこもり児童(学齢期)の家族向けの事業。月に1回先輩お母さんの話を聞いたり、お互いの今の心情を安心して話したりできる場をつくる。戸塚区ふれあい助成金の助成を受け、地域との連携を深めながら実施。</p>